

## 土木学会 複合構造委員会 第 2 回幹事会 議事録

1. 日 時：平成 17 年 6 月 28 日(火) 13:00 ~ 14:45

2. 場 所：土木学会 2 階 会議室 D

3. 出席者

上田委員長，中島副委員長，大垣幹事長，伊藤幹事，溝江幹事，武知幹事，古市幹事，  
渡辺幹事，本間幹事，山口幹事，池田幹事，大山 (敬称略，計 12 名)

4. 配布資料

資料 幹 2-1：複合構造委員会 第 1 回幹事会 議事録(案)

資料 幹 2-2：幹事会 業務分担(案)

資料 幹 2-3：「複合構造物の性能照査指針小委員会」設立趣意書(案)

資料 幹 2-4：「複合構造の現状調査小委員会(仮称)」設立趣意書(案)

資料 幹 2-5：「維持管理小委員会」設立趣意書(案)

資料 幹 2-6：「新材料による複合技術研究小委員会」設立趣意書(案)

資料 幹 2-7-1：第 6 回 複合構造の活用に関するシンポジウム 準備工程表

資料 幹 2-7-2：第 6 回 複合構造の活用に関するシンポジウム スケジュール(案)

資料 幹 2-7-3：第 6 回 複合構造の活用に関するシンポジウム アブストラクト投稿リスト

資料 幹 2-8：複合構造委員会の HP について

資料 幹 2-9-1：複合構造物の性能照査例の出版・講習会

資料 幹 2-9-2：複合構造物の性能照査例(まえがき，目次など)

資料 幹 2-10：出版委員会への委員派遣について

資料 幹 2-11：候補推薦者推薦 2 件，研究課題の募集 1 件

資料 幹 2-12：継続教育の記録・登録システムの変更および認定プログラム申請手続きの変更について

資料 幹 2-13：FRP の橋梁への適用に関する国際ワークショップ，第 2 回 FRP 橋梁に関するワークショップ

資料 幹 2-14：第 8 回 鋼構造と橋に関するシンポジウム 開催案内

資料 幹 2-15：日本鋼構造協会「土木鋼構造診断士・診断士補」資格制度の発足について

5. 議事次第

(1) 委員長挨拶

上田委員長より挨拶があった。

(2) 議事録(案)の確認 (資料 幹 2-1)

池田幹事より，第 1 回幹事会の議事録(案)の確認がなされ，承認された。なお，大垣幹事長より，  
(独)港湾空港技術研究所の横田 弘氏が幹事として加わって頂くことになった旨が報告された。

(3) 幹事会 業務分担について (資料 幹 2-2)

大垣幹事長より，幹事会業務分担について報告がなされた。主な内容は，下記のとおりである。

- ・ 新たな業務として“英文化出版”を設け，横田幹事(：グループ長)，上田委員長，中島副委員長，伊藤幹事，中村幹事，渡辺幹事に担当して頂くことにする。
- ・ 伊藤幹事の勤務先名称を，「JFE テクノリサーチ株」に修正する。
- ・ 企画 WG において，土木学会全国大会期間中に開催される研究討論会の題目，話題提供内

容なども議論する場として、“研究討論”という項目を追加する。

- ・ 当委員会から出版委員会へは、武知幹事に出席して頂くことになった。なお、継続教育実施連絡会、ISO 対応特別委員会および論文賞選考委員会へ出席して頂く方は、後日、選出することにする。

#### (4) 新設小委員会について (資料 幹 2-3~2-6)

##### 『複合構造物の性能照査指針小委員会』

中島副委員長より、『複合構造物の性能照査指針小委員会』について説明がなされた。

- ・ WGの内容を確定後、そのWGの内容に適した方を委員として推薦する。
- ・ 土木学会誌へ委員公募を掲載する際、委員長、副委員長ならびに幹事長の名前のみを記載する。

##### 『複合構造の現状調査小委員会(仮称)』

伊藤幹事より、『複合構造の現状調査小委員会(仮称)』について説明がなされた。

- ・ 幹事長としては、ドーピー建設工業(株)の上平謙二氏に依頼している。また、幹事としては、コンクリート構造側から清水建設(株)の滝本和志氏、鋼構造側から横河工事(株)の白水晃生氏に依頼している。
- ・ 園田教授からの情報によれば、JSSCでは、次期テーマとして、海外における複合構造の施工事例を対象に、調査を行うとのことである。

##### 『維持管理小委員会』

杉浦幹事欠席のため、大垣幹事長から『維持管理小委員会』について説明がなされた。

- ・ 当小委員会は、すでに複合構造として施工された構造の維持管理を対象としている。しかし、鋼構造およびコンクリート構造も補修・補強を行うことで、複合構造となる場合が多く、その構造に対しても検討を行うべきではないかとの意見が出された。

##### 『新材料による複合技術小委員会』

上田委員長から、『新材料による複合技術小委員会』について説明がなされた。

- ・ 幹事長としては、(株)神戸製鋼所の中川知和氏に依頼している。
- ・ 当小委員会では、すでに土木構造物への適用事例があるFRPなどの新材料のみならず、地盤材料とそれ以外の建設材料との複合に関しても議論を行う予定である。

なお、上述のすべての小委員会設立に向けて、共通項目として以下のことが決められた。

- ・ 性能照査指針小委員会以外の委員会委員は公募とし、土木学会誌の9月号に掲載する。
- ・ 活動予定期間の開始時期は、“平成17年度~”に書き改める。

#### (5) 第6回 複合構造の活用に関するシンポジウム企画について (資料 幹 2-7-1~2-7-3)

古市幹事より、第6回 複合構造の活用に関するシンポジウムの企画について報告がなされた。

- ・ 開催日は、11月21日(月)~22日(火)の2日間であり、すでに、シンポジウム用の講堂、A&B会議室ならびにパネル展示用のE&F会議室は、確保済みである。
- ・ 現時点での論文投稿数は56編である。なお、現在、建築学会からの投稿論文を募集中(7月22日(金)アブストラクト締切)である。
- ・ 第1日目は、『鉄道橋における複合構造の適用事例』として、(株)レールウェイエンジニアリングの保坂鐵矢氏に特別講演を依頼する予定であるが、第2日目は、未定である。そこで、議論が交わされ、我々の枠を超えた、つまり、鋼・コンクリート複合構造物と関係ない、

もしくは土木以外の“複合”に関する方へ特別講演を依頼することになった。なお、講演を依頼する方の候補を、7月15日(金)までに、古市幹事へ連絡することになった。

- ・ パネル展示は、各メーカーにおいて施工した複合構造の事例などを紹介する場とすることで了承が得られた。今後、パネル展示を行うメーカーを選定するとともに、展示料などを決定する必要がある。

(6) HP 企画について (資料 幹 2-8)

山口幹事より、複合構造委員会のホームページ企画について報告がなされた(すでに、ホームページは、運用を開始した)。報告後、以下の点に関して議論が交わされた。

- ・ ホームページを閲覧された方の人数を把握するための“カウンター”を設ける。
- ・ 各小委員会への公募の箇所は、土木学会の委員公募に関するホームページへジャンプするとともに、設立趣意書を閲覧できるようにする。
- ・ 配布資料は、議論中の案件もあるため、議事録のみ閲覧可能とする。

(7) 複合構造物の性能照査例出版と講習会について (資料 幹 2-9-1~2-9-2)

渡辺幹事より、複合構造物の性能照査例出版と講習会について報告がなされた。

- ・ 現在、各 WG へ最終原稿作成依頼中であり、7月末に原稿完成、8月末に査読終了、そして9月から出版作業を開始し、11月以降に出版を予定している。
- ・ 講習会は、今年度中(平成18年1月~2月)に東京/土木学会講堂にて開催することを予定している。他会場は、来年度以降の開催予定である。
- ・ 大阪地区の講習会会場は、大山幹事が大学関係を調査して、次回報告する。
- ・ 複合構造物の性能照査例は、構造工学シリーズではなく“複合構造シリーズ1”で出版する方向で、出版委員会において協議する。

(8) その他

大垣幹事長より、以下の案内など(資料 幹 2-10~2-15)について説明がなされた。

- ・ 出版委員会への委員派遣の要請があり、武知幹事に出席頂くこととした。
- ・ 文部科学省研究振興局より、平成18年度科学技術賞および若手科学者賞の候補推薦依頼、日本学術振興会より、第2回日本学術振興会賞受賞候補推薦依頼、国土交通省大臣官房技術調査課より建設技術研究開発助成制度 研究課題の募集あり、これらについて、複合委員会としては、特に回答しないこととした。
- ・ 継続教育の記録・登録システムの変更および認定プログラム申請手続きの変更について、連絡あり。学会の会員カードおよびHPにてCPD登録できることとなる。
- ・ 構造工学委員会 FRPの橋梁への適用に関する国際コングレス、第2回FRP橋梁に関するシンポジウム講演論文募集案内の紹介。
- ・ 鋼構造委員会 第8回鋼構造と橋に関するシンポジウム 開催案内の紹介。
- ・ 日本鋼構造協会「土木鋼構造診断士・診断士補」資格制度の発足についての紹介。

(9) 第3回幹事会開催日時について

- ・ 日 時：平成17年8月5日(金) 14:00~17:00
- ・ 場 所：土木学会

以 上 (記録・文責：大山 理)